

東経大の先生が推薦する!!

『大学での勉強 キソのキソ』



東京経済大学経営学部 相澤伸依先生より

新学期が始まります。履修する科目は決まりましたか？ 様々な授業の中でも、ゼミなど少人数の授業こそ、大学の学びの醍醐味。少人数の授業では、口頭発表やレポートなど様々な形で、自分の考えをまとめて他者に伝えることが求められます。

人前で話すのは苦手！ 文章を書くのは難しくて...という人もいるかもしれません。でも、上手に伝えられる人ほど、「最初からうまく話せる／書ける人はいない。訓練して、うまく話す／書く技術を身につけるのだ」と言います。そこで、技術を磨きたい人のために、「**話す**」「**書く**」技術を磨くための参考になる本を選びました。

ただし、どんなに話し方や書き方がうまくても、話の内容がスカスカでは意味がない。そこで、内容を作る、きちんと「**考える**」方法について書かれた本も選びました。

学びの手助けになる本たち。ぜひ手にとって、勉強のキソを固めてください。

選書担当者

相澤伸依（倫理学、フランス語）

柴内康文（メディア論、人間関係論）

新正裕尚（地球の科学、教養ゼミ）

久川伸子（文章表現基礎、日本語）

以下、推薦文敬称省略

—話す—

- 01 福田健『【図解】聞く力 話す力がたちまち身につく 40 の技術』
- 02 山本昭生『論理的に話す技術 相手にわかりやすく説明するための極意』
- 03 下地寛也『コクヨの1分間プレゼンテーション』
- 04 向後千春『自己表現力の教室』

—書く—

- 05 戸田山和久『新版 論文の教室—レポートから卒論まで』
- 06 阿部紘久『文章力の基本：簡単だけど、だれも教えてくれない 77 のテクニック』
- 07 山口裕之『コピペと言われないレポートの書き方教室』
- 08 倉島保美『論理が伝わる世界標準の「書く技術」』
- 09 宮野公樹『研究発表のためのスライドデザイン』
- 10 山田ズーニー『あなたの話はなぜ「通じない」のか』
- 11 三省堂編修所『新しい国語表記ハンドブック（第六版）』
- 12 石黒圭『論文・レポートの基本：この一冊できちんと書ける!』
- 13 学習技術研究会編著『知へのステップ：大学生からのスタディ・スキルズ第3版』
- 14 中澤務, 森貴史, 本村康哲編『知のナビゲーター：情報と知識の海』
- 15 二通信子[ほか]『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』
- 16 中井浩一『正しく読み、深く考える日本語論理トレーニング』

—考える—

- 17 福澤一吉『議論のレッスン』
- 18 野矢茂樹『新版 論理トレーニング』
- 19 戸田山和久『「科学的思考」のレッスン—学校で教えてくれないサイエンス』
- 20 谷岡一郎『「社会調査」のウソリサーチ・リテラシーのすすめ』
- 21 ダレル・ハフ『統計でウソをつく法—数式を使わない統計学入門』
- 22 瀧本哲史『武器としての決断思考』

01 福田健『【図解】聞く力 話す力がたちまち身につく 40 の技術』

日本実業出版, 2013

資料 ID 0897101

請求番号 /361.45/F 74z/

コミュニケーションにおける「聞く力」の重要性を解説し、その力を伸ばすにはどうすればよいかを実践的に示す本。話すのが苦手な人は、まずは聞く態度を変えることを意識してみよう。(相澤)

02 山本昭生『論理的に話す技術 相手にわかりやすく説明するための極意』サイエンス・アイ新書、ソフトバンククリエイティブ, 2010

サイエンス・アイ新書、ソフトバンククリエイティブ, 2010

資料 ID 0809853

請求番号 /081/50/v.155/

タイトルどおり「論理的に話す技術 相手にわかりやすく説明するための極意」がぎゅっと詰まった一冊。授業内でのプレゼンから就活の面接まで応用できます。(相澤)

03 下地寛也『コクヨの1分間プレゼンテーション』

中経出版, 2010

資料 ID 0952523

請求番号 /336.49/Sh 52k/

企業研修で教えられているノウハウをまとめた本。授業内でのプレゼンから就活の面接まで応用できる、基本がつまっています。(相澤)

04 向後千春『自己表現力の教室』

情報センター出版局, 2000

資料 ID 0952522

請求番号 /809.2/A 64j/

「話し方」と「書き方」の基本を学ぶための教科書。訓練すれば、自分を上手に伝えられます。(相澤)

05 戸田山和久『新版 論文の教室 —レポートから卒論まで』

NHK 出版, 2012

資料 ID・請求番号

873320 /002.7/Tb 17r/

872989 /指定/加藤(み)/

877869 /指定/横川/

レポート課題が出たら、これを読みましよう。(相澤)

06 阿部紘久『文章力の基本：簡単だけど、だれも教えてくれない 77 のテクニック』

日本実業出版社, 2009

資料 ID 0804396

請求番号 /指定/川浦/

これは本当におすすめてです。具体例にそくしてよくある文章の問題点について解説されています。本書にあるポイントを意識して修正してゆくことで、かなり読みやすい文章が書けるようになると思います—この推薦文も添削できます。どこを直すべきでしょうか？(新正)

07 山口裕之『コピペと言われないレポートの書き方教室』新曜社, 2013

資料 ID 0951194

請求番号 /002.7/Y 24k

他の資料を活用しつつコピペでないレポートを書く方法を、これでもかというほど噛み砕いて具体的に解説されています。親切です。(新正)

08 倉島保美『論理が伝わる世界標準の「書く技術」』講談社 (ブルーバックス)、2012

資料 ID 0952908

請求番号 /336.55/Ku 55r/

パラグラフを意識した文章の構成方法を詳しく解説した本。レポート作成などの際に意識して練習すると、論理的な文章構成が身に付くと思います。(新正)

09 宮野公樹『研究発表のためのスライドデザイン』講談社 (ブルーバックス)、2012

資料 ID 0952966

請求番号 /007.63/Mi 79k/

例示されている題材は理系ですが、発表用のスライドを作るときの注意点の解説としては、とても具体的で判りやすい本です。ゼミなどでの発表の前に読もう。(新正)

10 山田ズーニー『あなたの話はなぜ「通じない」のか』筑摩書房, 2006

資料 ID 0952914

請求番号/361.45/Y 19a/

「説得」の技術と心構えを述べた本。例はビジネス寄りですが、より一般的に説得の場面において、どのような心の準備をして臨むべきかについて考えさせられます。(新正)

11 三省堂編修所『新しい国語表記ハンドブック (第六版)』

三省堂, 2011

資料 ID 0952912

請求番号 /811.2/Sa 66a/

私の手元には第五版があります。送り仮名や漢字の使い分けなど雑多に載っており、書き方に迷ったときに持っているると便利です。値段も安い！(新正)

12 石黒圭 『論文・レポートの基本：この1冊できちんと書ける!』

日本実業出版社，2012

資料ID 0717382

請求番号 /002.71/73r/

「きちんとレポートや論文を書きたい」と思っている新入生から大学院生までが使える入門書です。論文やレポートを書く上で必要な基礎知識が、とてもいねいに説明されています。新入生は、「はじめに」の7ページまでと、目次だけでも読んでみてくださいね。(久川)

13 学習技術研究会編著||『知へのステップ：大学生からのスタディ・スキルズ第3版』

くろしお出版，2011

資料ID 0952965

請求番号 /377.15/G 16c/

新入生向けに、ノートのとりかたやレポートの書き方など、「大学生の勉強の方法」を教えてくれる本です。TKU ベーシックカブックⅢで書かれていることをもう少し詳しく知りたい人は、必要だと思う項目から読んでみてください。(久川)

14 中澤務，森貴史，本村康哲編『知のナビゲーター：情報と知識の海-現代を航海するための』

くろしお出版，2007

資料ID 0681304

請求番号 /N 1//

新入生向けに、「大学生の勉強の方法」を教えてくれる本です。TKU ベーシックカブックⅢで書かれていることをもう少し詳しく知りたい人は、必要だと思う項目から読んでみてください。(久川)

15 二通信子[ほか]『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』

東京大学出版会，2009

資料ID 0807124

請求番号 /002.7/

レポートや論文を書くとき、具体的に「どんな表現を使えばいいのかわからない」という新入生から大学院生までが使える本です。この本を辞書のように使えば、レポートでよく使う表現がすぐわかり、レポートをまとめる時間が短縮できるはずです。(久川)

16 中井浩一『正しく読み、深く考える日本語論理トレーニング』

講談社, 2009

資料ID 0721582

請求番号 /080/Ko19/v.1981

「論理的な文章」について「とりあえずこんなことがわかっていると読む時理解しやすいし、書くときも楽だよ」という立場で書かれている本です。「論理的な文章」の入り口で悩んでいる人は、まず、この本に書かれている「論理の型」を見てみませんか。(久川)

17 福澤一吉『議論のレッスン』

日本放送出版協会, 2002

資料ID 0552964

請求番号 /081/30/v. 25

論理的に思考し、語る方法を勉強するための入門書。(相澤)

18 野矢茂樹『新版 論理トレーニング』産業図書、2006

資料ID 0664298

請求番号 /116/N97r

論理的思考についての最良の教科書。紙と鉛筆を持って、練習問題を解きつつ進みましょう。難しい時もある(私も間違えます)。だけど、手を動かして考え

ることで、視点の取り方がじわじわわかる。最後の二章は、質問の仕方、論文の書き方のコンパクトな解説になっている。(相澤)

19 戸田山和久『「科学的思考」のレッスン—学校で教えてくれないサイエンス』NHK出版, 2011

資料ID 0864982

請求番号 /081/53/v.365

「科学的」に考えるとはどういうことを学ぶ本であり、優れた科学哲学入門でもある。(相澤)

20 谷岡 一郎『「社会調査」のウンリサーチ・リテラシーのすすめ』

文藝春秋, 2010

資料ID 0876362

請求番号 /081/9/v.110

大学では書かれたことを信じ、記憶するのではなく、「批判的に考える」ことを求められる。でも、そのやり方はなかなか学ばない。これを身につけるにはまず、データ・数字の疑い方を学ぶのがよいと思う。データは疑いのない真実に見えるが、実はそうでもないからだ。(柴内)

21 ダレル・ハフ『統計でウソをつく法—数式を使わない統計学入門』

講談社, 1968

資料 ID・請求番号

0501237 /350.4/2/

0010197 /350/H 98/

『「社会調査」…』はメディアや学問を切りまくる過激さがあるが、疑い方を学べる。第4章はよく読んでほしい。読後はぜひ教師やテキストにも過激に挑んでください。『統計でウソを…』はこの分野の定番で半世紀前からのベストセラー。この2冊はお好みで(両方でも)。(柴内)

22 瀧本哲史『武器としての決断思考』

星海社, 2011

資料 ID 0952967

請求番号 /141.5/Ta 73b/

「疑い方」(≡クリティカル・シンキング、あるいはツッコミ力)は、本当はゼミなどで訓練するのがよい(それがゼミ参加の意味でもある)。本書は京大での筆者の講義のエッセンスということだが、ライブ感覚で雰囲気を感じることができる。「ツッコミかた」は特に「4時間目」以降に。(柴内)

23 伊勢田哲治『哲学思考トレーニング』 筑摩書房, 2005

資料 ID /081.4/r.545

請求番号 0624523

論理的に思考し、語る作法を勉強するための入門書。哲学に限らず、「考える」ための基本的な態度と作法を身につけよう。(相澤)